

令和4年度 自己評価公表シート

1. 幼稚園の教育目標

- (1) 身体も心も健康で明るい子供 (体) つよい子
- (2) 豊かな心と感性をもった子供 (徳) すなおでやさしい子
- (3) 自分で考えて行動できる子供 (知) かんがえる子

2. 本年度の学校評価の具体的な目標や計画

- (1) 明るく温かで健康的な教育環境を整え、温かな眼差しによる保育者の見守りによって子供たちが安心して、自信をもって自己を発揮していけるようにする。
 - ① 四季折々の窓面を工夫し、幼稚園の楽しさを伝える。
 - ② おもちゃを使いやすく配置し、園児が楽しく仲良く遊べるようにする。
 - ③ 朝夕の清掃と消毒を徹底し、清潔で健康的な環境を整える。
- (2) 広い園庭を活かし、のびのびと遊びながら四季折々の草花や木の実や葉、昆虫などに触れ、豊かな心と感性が育まれるようにする。
 - ① 園庭の大型遊具は落下などの危険のないよう園児が見てすぐ分かる絵柄の「お休みカード」を作成し掛けておいてある。園児がその遊具で遊びたい時に保育者に申し出てカードを外してもらい見守ってもらうことで、安全に楽しく遊ぶ。
 - ② 園庭の草花から色水をつくったり、種を取ったり、昆虫を見つけたりして、自然に触れあって遊べるようにする。
 - ③ 毎日のお弁当によって喜びと感謝の気持ちを育てると同時に、畑で作物を育て、収穫の喜びと食物への感謝の気持ちを育てる。
- (3) 小学校就学を見通したカリキュラムにより、季節や行事に合わせて工夫した制作を通して、自分で考えて作ったり、友達と協力して作ったりすることが出来るようにする。
 - ① 担任教諭と共に、季節や行事に合わせた歌を歌い、制作をし情操を豊かにしていく。
 - ② 専門の講師による体育あそびによって、楽しく遊びながら個別・学齢に応じた体づくりを図る。
 - ③ ネイティブの専門講師による英語あそびでは、楽しみながら異文化・異言語に触れる。
- (4) 年間カリキュラムにある季節に応じた諸行事を実施するにあたり、新しい生活様式を工夫し、学年別で実施するなど保護者の理解・協力も得て、園児の命を守り安全に実施できるようにする。
 - ① 園外保育では、感染予防を徹底し、安全に実施できる行事を精選する。

- ② 運動会では、力いっぱい走ったり、おゆうぎをしたりすることで、体づくりと協調性・頑張る力を伸ばす。
 - ③ おゆうぎ会、ひなまつり会、七夕、豆まき会、誕生日会などの行事では、意味・意義を教えると同時に発達段階に応じた表現力を高め情操教育につなげる。
- (5) 家庭・地域と連携した、幼児教育の支援を推進する。
- ①保護者の子育て支援のための預かり保育では、家庭的なくつろいだ雰囲気のなかで、安全に子供たちを見守り過ごす。
 - ②近隣小学校と連携し、小学校就学を見通した保護者支援を実施する。保幼小連絡協議会への参加も積極的に実施する。
 - ③すこやか、療育担当と連携し、保護者承諾のもと、一人一人の園児にあった保育を家庭と協力して進める。
- (6) 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取り組み
- ①毎朝の検温を軸とした、保護者と共同した健康観察のもと、傷病状況にいち早く察知し、各家庭かかりつけ医療機関・保健所と連携する。
 - ②幼稚園での感染対策について、定期的に保護者に周知し、保護者と幼稚園が常に連携して感染防止を図る。
 - ③ 全教職員で、保育室・玩具・遊具を清潔に保つため、清掃・消毒を徹底し、さらにチェックシートによって管理をする。
- (7) 教職員の専門性の向上を図る。
- ①中野区幼稚園連合会主催の研修会に参加し、その研修内容を全教職員に還元する。
 - ②カリキュラム会議を毎週実施し、保育の内容などを相互に連絡し合い、幼稚園教諭としてのスキルアップにつなげる。
 - ③ 長期休業を活用して、各自研修を行い、その内容を長期休業後に発表し、互いの研修内容を知る機会とする。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	結果	理由
(1)	①	A 保育室の窓面は季節に合わせて子どもたちが製作し園内の壁面は行事に合わせて定期的に更新している。
	②	A 保育室は楽しく遊べるように工夫して配置されている。
	③	A 職員が当番制で清掃消毒も徹底されていて清掃消毒後はチェックリストによって管理されている。

(2)	①	A	大型園庭遊具に掛けている「お休みカード」のルールを教え、安全に楽しく遊べるようにしている。
	②	A	園庭の草花から色水を作ったり落ち葉を拾ったり昆虫を見つけたり図鑑を見ながら観察し自然に触れ遊びを楽しんでいる。
	③	A	お弁当を作ってくれるおうちの人へのお弁当感謝カードを製作し喜ばれている。畑で育てた野菜を収穫し喜んで味わっている。
(3)	①	A	季節の歌や行事の歌を楽しんでいる。 廃材を利用して一人ひとり創意工夫して製作に取り組んでいる。
	②	A	専門の講師による体育あそびでは楽しく遊びながら学齢に応じた指導し健康な体づくりをしている。
	③	A	ネイティブの専門講師による英語あそびでは発音を聞きとりリズムカルに動いて楽しんでいる。
(4)	①	A	行事に合わせて計画的に準備をしている。 感染予防の観点で工夫して楽しい思い出になるようにしている。
	②	A	運動会の準備や練習を通してできたことを喜び自信を持ち達成感を得られている。
	③	A	表現活動は行事を通して意味を知ったりお誕生日会ではそれぞれの誕生児を祝い学年に応じて楽しむ会にしている。
(5)	①	A	子育て支援として降園後の預かり保育は安全な環境を準備している。 家庭的雰囲気信頼を得て保護者に喜ばれている。
	②	A	保幼小連絡協議会に参加し就学時には小学校と連絡を取り保護者と子どもへの安心に繋げている。
	③	A	特別支援児に対する保育に関して重点的な取り組みを行った。 担任教諭が立案した保育計画の下に、専任の特別支援児担当の教諭を配置してご家庭と連携しながらきめ細やかな保育を行い、特別支援児の抱える個別の問題に配慮した保育を行った。
(6)	①	A	日々の健康チェックは欠かさず保育者の視診に力を入れている。園医とも連絡相談を行っている。
	②	A	感染予防の周知文書の配布と必要に応じて即座に掲示板、一斉メール配信し正確に周知を行っている。
	③	A	清掃と消毒の実施、チェックシートで確認も行っている。
(7)	①	A	研修会に参加した教員に全教職員に還元できるように報告・発表している。
	②	A	毎週カリキュラム会議で共通の理解を図りスキルアップに繋げている。

③	A	長期休業中は各自教材準備教材づくりに自主研修を行っている。
---	---	-------------------------------

4. 令和4年度の学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
A	幼稚園生活において保育者の援助、色々なかかわりの中で信頼を築き安心して生活していく。集団生活でのルールやマナーなど一人ひとり体験を通して知り身につけていく。子どもたちが安定してのびのび遊べる環境を作り出し取り入れたりするのは保育者である。保育者同士のチームワークが大切で情報交換し合いアイデアの伝え合い子どもの状況や姿を話し合い報告・連絡・相談が無理なくかわされることが園全体の活性化を生み子どもが楽しめる園となっている。

5. 令和5年度に取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
感染症対策	日常保育・行事等安全に満足いくように進めていく。
幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	<ul style="list-style-type: none"> ・技能・知識・判断力 ・健康な心と体・自立心・協同性・道徳性・言葉による伝え合い ・社会生活との関わり・自然との関わり・生命尊重・数量や文字などの関心・思考力の芽生え・豊かな感性と表情

6. 令和4年度学校関係者評価報告書

<p>(学校法人の評議員1名による学校関係者評価の結果)</p> <p>令和4年度においては、1学期に一部教職員が新型コロナウイルス感染症に罹患したため感染拡大防止のため1週間程度の休園を余儀なくされたが、これに関して保護者からさまざまなご意見が寄せられた。これを受けて、コロナ禍という制約がある中でどのような形で保育活動や保育行事を行い、幼稚園教育を充実させるのかということを考え、実行に移すことに取り組んでいたものと評価している。そのような中で、ノーマスクで卒園式が行われたことは印象的な出来事であった。</p> <p>少子化や保育園の増加により園児数が減少していく中でも、一人一人の状況に合わせて丁寧に保育を行っている。特に特別支援児に対する保育に関しては、立案された保育計画の下に専任の担当教諭を配置してご家庭と連携しながらきめ細やかな保育を行っており、大変評価できている。園児数減少を好機ととらえるのは難しいかもしれないが、園児数減少を機により丁寧な保育を目指すこと、教職員の研鑽の機会を増やすこと等を通じて、保護者や地域の信頼を得て今後の幼稚園運営につながる基礎の確立を目指してもらいたいことを願っている。</p>
